

福岡大学西新病院院内フォーミュラリー（推奨薬リスト）一覧

薬効群	第一推奨薬	第二推奨薬	備考
PPI	後 ランソプラゾールOD錠15mg(14.2円/錠) 後 ラベプラゾールNa塩錠10mg(30.1円/錠)	先 タケキャブ錠20mg(150.5円/錠) 先 エソメプラゾールカプセル20mg(46.6円/錠)	・簡易懸濁の場合は ランソプラゾール を推奨 ・ タケキャブ はZollinger-Ellison症候群、吻合部潰瘍、非糜爛性胃食道逆流症の適応なし
抗アレルギー	後 フェキソフェナジン塩酸塩OD錠60mg(13.6円/錠) 後 オロパタジン塩酸塩OD錠5mg(10.1円/錠)	先 デザレックス錠5mg(47円/錠)	・ フェキソフェナジン は眠気の副作用がほとんどなく、腎・肝障害にも使用しやすい ・ デザレックス は眠気の副作用がほとんどなく、1日1回内服、食事の影響も受けない
抗インフルエンザ	後 オセルタミビルカプセル75mg(114.4円/Cap) 先 ソフルーザ錠20mg(2438.8円/錠)	先 イナビル吸入懸濁用160mg(4241.5円/キット) 先 ラビアクタ点滴静注液バッグ300mg(6331円/袋)	・ オセルタミビル 、 ラビアクタ は腎機能が低下している患者に減量が必要 ・内服、吸入が困難な場合は ラビアクタ 推奨
経口麻薬	オキシコドン製剤 定期:後 オキシコドン徐放カプセル5mg(92円/Cap) レスキュー:先 オキノーム散2.5mg(53.8円/包) モルヒネ製剤 定期:先 MSコンチン錠10mg(245.6円/錠) レスキュー:先 オブソ内服液5mg2.5mL(114.5円/包)	フェンタニル製剤 先 フェントステープ0.5mg(278.5円/枚) 先 フェントステープ1mg(514.8円/枚)	・内服が難しい場合は フェントステープ 推奨 ・オピオイド誘発性便秘症がある場合は スインプロイク (1回1錠、1日1回)を追加
睡眠導入	先 ベルソムラ錠15mg(90.8円/錠) 先 デエビゴ錠5mg(85.2円/錠)	後 エスゾピクロン錠1mg(10.6円/錠) 後 ラメルテオン錠8mg(26.5円/錠)	・CYP3A阻害薬剤(ポリコナゾール、エリスロマイシン、イトラコナゾール、クラリスロマイシン等)との併用 → ベルソムラ :禁忌 → デエビゴ :併用注意(上記薬剤と併用する場合は2.5mg) ・ ベルソムラ 、 デエビゴ は入眠困難や中途覚醒など患者の症状に合わせて選択 ・ベンゾジアゼピン系睡眠薬は転倒、転落のリスクが高いため除外 ・ エスゾピクロン は超短時間型
整腸	○ 抗菌薬なし → 後 ビオフェルミン錠(5.7円/錠) 先 ビオスリー配合OD錠(6.3円/錠) ○ 抗菌薬あり → 先 ミヤBM錠(5.7円/錠) 後 ビオフェルミン錠(5.7円/錠)	先 ミヤBM錠(5.7円/錠)	・すべて簡易懸濁可能
緩下	後 酸化マグネシウム錠330mg、500mg(5.7円/錠)	先 アミティーザカプセル12μg(52.6円/Cap) 先 グーフィス錠5mg(89.2円/錠) 先 モビコール配合内用剤LD(70.5円/包) 先 リンゼス錠0.25mg(73.4円/錠)	・ 酸化マグネシウム は腎障害時・高齢者・全身状態不良の場合は3ヶ月に一度、長期投与の場合にも定期的な血中Mg濃度測定 ・ 酸化マグネシウム は腎障害時は慎重投与 ・ グーフィス は、大腸水分分泌＋大腸蠕動運動作用を有し、長期間投与可能で耐性も認めにくい ・オピオイド誘発性便秘症がある場合は スインプロイク (1回1錠、1日1回)を使用
鎮痛消炎 【外用】	後 ケトプロフェンテープ40mg(17.1円/枚) 後 ロキソプロフェンNaパップ100mg(17.1円/枚)	後 MS温シップ(17.2円/枚) 先 ジクトルテープ75mg(155.8円/枚)	・ パップ剤 → 冷却効果あり、かぶれにくい、はがしやすい、背中・腰など広く動きの少ない部位に適する ・ テープ剤 → かぶれやすい、はがれにくい、肘・膝・関節などの動きの多い部位に適する ・温感が欲しいとき → MS温シップ ・ ジクトルテープ (ジクロフェナク)は癌性疼痛にも使用可能
抗真菌 (口腔カンジダ)	先 オラビ錠50mg(1058.7円/錠)	先 ファンギゾンシロップ100mg/mL(54.6円/mL)	・ オラビ錠 (ミコナゾール)は14日間処方 ・ オラビ錠 (ミコナゾール)はCYP3A及びCYP2C9を阻害するため、ワーファリンやトリアゾラム、イグザレルトと併用禁忌
経口 腎性貧血	先 ダーブロック錠4mg(303.6円/錠)		・赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合 → 1回2mg又は4mgが開始用量 ・赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合 → 1回4mgが開始用量 ・CYP2C8阻害薬剤(クロビドグレル)との併用注意
高尿酸血症	後 アロプリノール錠100mg(7.8円/錠) 後 フェブキソスタット錠20mg(12.1円/錠)	先 ユリス錠1mg(51.9円/錠)	・ アロプリノール → 腎機能による用量調整が必要 ・尿酸生成抑制: アロプリノール 、 フェブキソスタット 尿酸排出促進: ユリス

※ 各薬剤の用法・用量は薬剤師にご相談ください

2023/8/1更新 薬剤部